

「暮らしを見つめなおす講座③ 今だから知りたい！地デジ活用術」

を開催しました



平成22年9月8日、パナソニック電工(株) 課長 高橋 浩二さんと(株)東芝 課長 山根 徳三さんのお二人を講師にお迎えしました。

地上デジタルテレビ放送に対応できている世帯は8割を超えたと言われていますが、みなさんはその仕組みと良さ、そして地デジならではの楽しみ方を十分に理解できているでしょうか。来年7月24日までに従来のアナログ放送が終了してしまいます。今だから知りたい！地デジの活用術を教えてくださいました。

地上デジタル放送は、平成10年にイギリスで開始され、今では世界の20以上の国と地域で放送されています。日本では、テレビのアナログ放送が50年以上前に始まり、現在では電波が過密に使われており、このままではチャンネルが足りなくなってしまう。デジタル放送では、隣り合った中継局で同じチャンネルを使っても混信の影響を受けにくいので大幅にチャンネル数を減らすことができ、テレビ以外の通信などに使う電波に余裕が生まれます。更なる情報化社会の進展のためにもデジタル放送は世界の潮流になっています。

デジタル技術を使うと、テレビの映像が二重に写るゴースト現象や映像や音声の劣化がなくなり、高画質のハイビジョンが楽しめます。また、番組によっては字幕放送やドラマの解説放送を聞くこともできます。データ放送により、ニュースや天気予報がいつでも見られたり、電子番組ガイドで録画予約が簡単にできるなどのメリットもあります。

地上デジタルテレビ放送を視聴するには、テレビを買い換える、デジタルチューナーを買い足す(アナログテレビにデジタルチューナーを接続する)、ケーブルテレビで視聴する、以上の3つが主な方法です。

アナログ放送終了に便乗した悪質商法に注意し、分からないことがあれば、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(電話:0570-07-0101)にお問い合わせの上、早めの準備をおすすめします。

